

J S N 研究所



2025年度分 実践研究報告会

2026年5月29日（金） 14:00～17:15
受付 13:40～

開催場所：NLC新大阪 8号館 9階901号室
対面開催 または ZOOM配信
参加費：1000円

— 開会のご挨拶 — 14:00～14:10

高橋 知音先生

信州大学教育学部教授。
筑波大学大学院修了、米ジョージ
ア大学大学院にてPh.D.取得。教
育心理学・臨床心理学を専門と
し、学習障害や発達特性のアセス
メント、合理的配慮に関する研究
に長年取り組んでいる。

第一部：基調講演 14:10～15:40

信州大学 教授 高橋 知音 先生

【講演テーマ】

読み書き障害をアセスメントする ～就労を見据えて～

— 10分休憩 —

第二部：JSN研究所 2025年度分実践研究報告会

15:50～16:50

15:50 スーパーヴィジョンを基にした面談時の問題解決と
～16:20 就労移行支援従事者の人材育成
中嶋 幸（JSN門真）

16:20 就労移行支援における利用者を対象とした
～16:50 セルフ・コンパッションを高める介入効果の検討
加來 諒大（JSN新大阪）

※発表20分、質疑応答10分

16:50 — 本日のまとめ・閉会のご挨拶 —
～17:15

ぜひ現地でのご参加をお待ちしております！
当日参加が難しい方には、後日オンデマンド
配信にも対応いたします。



オンデマンド配信 発表者一覧

研究者	研究テーマ
福島 美和子	精神障害のある方と働くことによる従業員の変化～Q12と組織風土の観点から～
中本 遥香	就労移行支援を利用する自閉スペクトラム症者のマインドフルネス特性の要因に関する研究 ～感覚と訓練・就業経験に着目して～
實盛 朱里	高機能の発達障害のある方が自ら目指す働く態度への取組み ～本人と共に作成する目標設定シートついて～
五屋 真由子	精神障害・発達障害のある者に対するモニタリングツールを併用した 就労移行支援の長期的な効果の検討
浦野 由佳	就労支援現場におけるCBTとヨガの併用介入の有効性と実装可能性
方 真雅	精神障害者の就労移行支援における雇用先企業への提出を想定した 合理的配慮の合意形成過程に関する研究
※星明 聡志	障害者雇用が企業に与える効果に関する調査研究
※城 美早	特例子会社の従業員への介入研究
※加藤久美子	就労継続日数と訓練要素に関する研究（有効な要因は何か）
※山中 佳祐	発達障害（ASD、ADHD）のある就労者が就労場面で感じる困難の特徴と ソーシャルスキルトレーニング（SST）プログラムへの活用に関する研究
※杉本 亜由子	精神・発達障害のある方に対する標準化検査を活用したアセスメント、 支援介入について ～GATBを用いて～
※久保川良子	就労移行支援におけるセルフモニタリング項目の設定に関する研究 ～WEB日報「SPIS」を用いて～
池田 浩之	現場職員の実践研究を支える研究・発達障害のある者への就労支援

※外部研究員

お申込み方法・会場案内



<https://x.gd/NOwP9>

【お申込み】
上記QRコード・URLにアクセスの上
お申込みください
3営業日以内に確認メールを送付します
お支払い方法をご案内しますので、3営業日以内に返信
がない場合は下記までご連絡ください



大阪メトロ西中島南方駅より徒歩3分
JR新大阪駅より徒歩12分 阪急京都線南方駅より徒歩5分

【会場案内】
大阪市淀川区
西中島
3-9-13



【お問い合わせ先】
NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク J S N 新大阪アネックス 担当：實盛
TEL：06-6307-1717 MAIL：jsn-a@muse.ocn.ne.jp